

第7次岡崎市総合計画の中間改定について

1 第7次岡崎市総合計画の主旨

▶市の将来都市像を実現するために、長期的な展望のもと、まちづくりの基本的な方針を定め、様々な分野にわたる市の事業を総合的かつ計画的に進めていくものです。

▶将来の見通しとして、少子高齢化や公共施設老朽化などの懸念点があります。

その一方で、ICT技術の活用による新しい価値の創出や、人間中心の社会の構築、持続可能な社会の形成、リニア中央新幹線開業によるスーパーメガリージョンの形成などの期待できる変化も想定されています。

こうした状況の中で、岡崎市がよりよい未来のために目指す目標とその実現に向けた取組をまとめたものが第7次岡崎市総合計画です。

2 中間見直しの必要性について

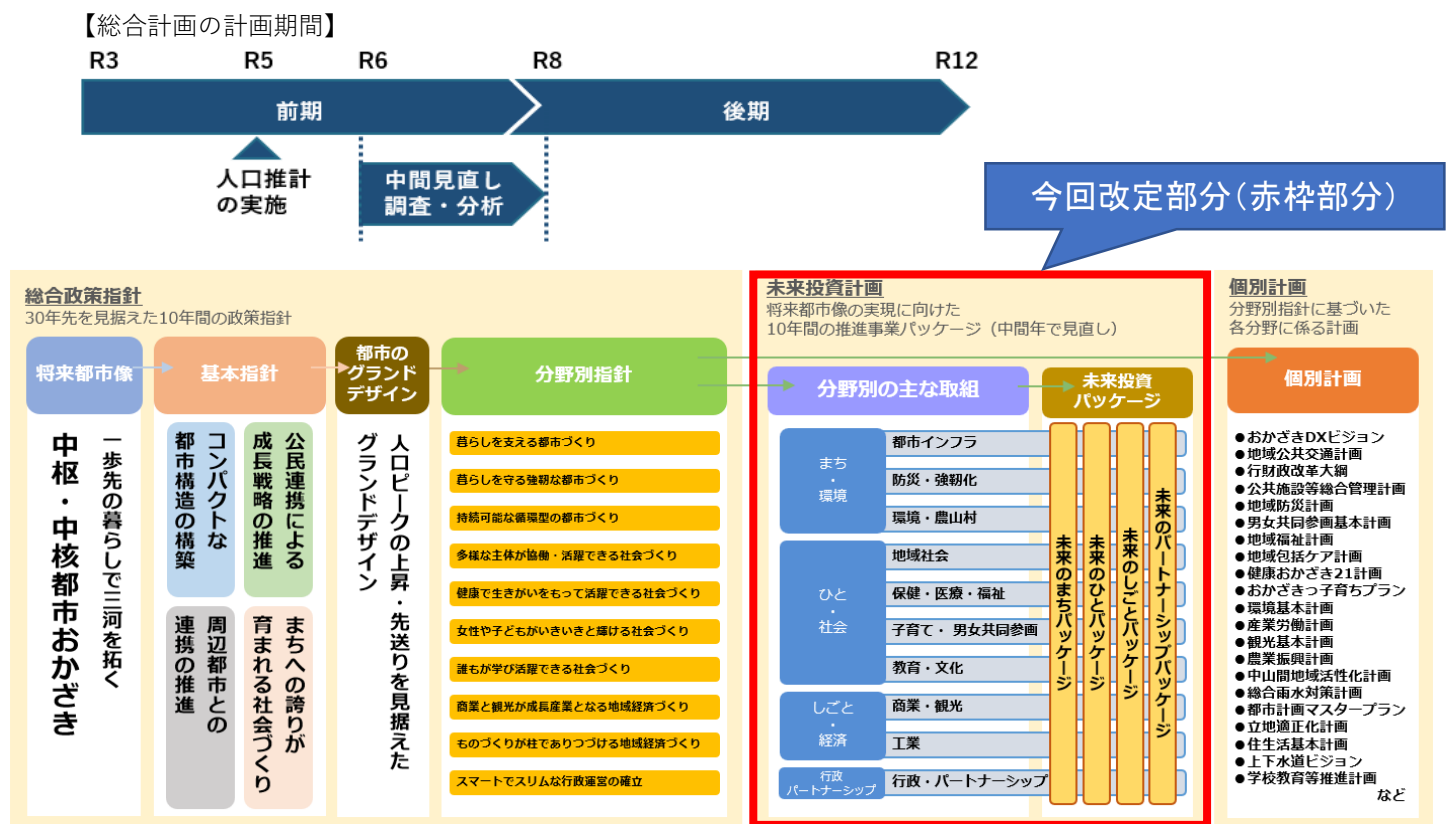
令和3年度に策定した「第7次岡崎市総合計画」は、10年間の計画期間のうち半分が経過しようとしているため、中間見直しを実施。

●中間見直しの必要性

- ①前提条件の変化に対応した未来投資計画の見直し
 - ・人口動態による見直し
 - ・社会情勢、生活様式の変化による見直し
- ②各施策の時点修正による未来投資計画の見直し
 - ・法令改正の影響、課題の変化、進捗状況等による見直し

●見直しの範囲

- ①変更しないところ
総合政策指針
- ②変更をするところ
未来投資計画



3 改定のスケジュール案

- | | |
|-------|---|
| 令和5年度 | ▼ 人口推計の実施 ⇒人口フレームの再検討 |
| 令和6年度 | ▼ 基礎調査 ⇒社会情勢、生活様式の変化による見直し
▼ 市民意識調査 ⇒市民ニーズの把握
▼ 前期計画の評価 ⇒個別計画の評価、課題・方向性の整理、法令改正等の影響の確認
▼ 分野別の主な取組の骨子案の作成 |
| 令和7年度 | ▼ 未来投資パッケージ推進事業の見直し
▼ 総合計画案の作成
▼ パブリックコメント(令和7年11月7日～令和7年12月8日)
▼ 令和7年度末に改定版の公表予定 |

第7次岡崎市総合計画 後期計画

総合政策指針

30年先を見据えた10年間の政策指針

将来都市像

一歩先の暮らしで三河を拓く
中枢・中核都市 おかざき

基本指針

コンパクトな
都市構造の構築

公民連携による
成長戦略の推進

周辺都市との
連携の推進

まちへの誇りが
育まれる社会づくり

都市の グランド デザイン

人口ピークの上昇・先送りを見据えた
グランドデザイン

分野別指針

- (1)暮らしを支える都市づくり
- (2)暮らしを守る強靱な都市づくり
- (3)持続可能な循環型の都市づくり
- (4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- (5)健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- (6)女性や子どもがいいきと輝ける社会づくり
- (7)誰もが学び活躍できる社会づくり
- (8)商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- (9)ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- (10)スマートでスリムな行政運営の確立

未来投資計画

将来都市像の実現に向けた
10年間の推進事業パッケージ（中間年で見直し）

分野別の主な取組

まち・ 環境	都市インフラ	未来のまち パッケージ	未来のひと パッケージ	未来のしごと パッケージ	未来のパートナーシップ パッケージ
	防災・強靱化				
	環境・農山村				
ひと・ 社会	地域社会				
	保健・医療・福祉				
	子育て・男女共同参画				
しごと・ 経済	教育・文化				
	商業・観光				
行政 パートナーシップ	工業				
	行政・パートナーシップ				

未来投資 パッケージ

個別計画

分野別指針に基づいた
各分野に係る計画

個別計画

- おかざきDXビジョン
- 地域公共交通計画
- 行財政改革大綱
- 公共施設等総合管理計画
- 地域防災計画
- 男女共同参画基本計画
- 地域福祉計画
- 地域包括ケア計画
- 健康おかざき21計画
- おかざき子育てプラン
- 環境基本計画
- 産業労働計画
- 観光基本計画
- 農業振興計画
- 中山間地域活性化計画
- 総合雨水対策計画
- 都市計画マスタープラン
- 立地適正化計画
- 住生活基本計画
- 上下水道ビジョン
- 学校教育等推進計画
- など

(1) 暮らしを支える都市づくり

集約連携型都市の実現に向けて、「しごと」に引き寄せられて集まってきた「ひと」の住宅需要に対応しつつ、暮らしの質を高める都市基盤が充実していく「まち」を目指します。

(2) 暮らしを守る強靱な都市づくり

市民を災害から守ることは、日本経済を支えるものづくり産業の強靱化に直結していることを念頭に、周辺都市を含む公民連携や都市基盤の老朽化対策と連動して、災害に強いまち、被災時もスピード感をもった復旧・復興ができるまちを目指します。

(3) 持続可能な循環型の都市づくり

環境・経済・社会の課題を踏まえ、公民連携して複数課題の統合的な解決を図る地域循環共生圏の枠組みの中で、排出CO2の削減、生物の多様性確保、健全な水循環、森林資源や農地の保全・活用がなされる持続可能なまちを目指します。

(4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり

人口構成変化や年代別人口偏在に起因する担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指します。

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

後期高齢者の急激な増加を迎える中であっても、各主体が我が事として活躍する地域共生社会の実現により保健・医療・福祉・地域が一体となって取り組むことで、誰もが生きがいや役割を持って活躍できるまちを目指します。

(6) 女性や子どもがいいきと輝ける社会づくり

3世代の同居・近居率の高さ、西三河製造業勤務世帯の多さなど、本市の特性を踏まえ、子育て世代の就労をはじめとする社会での活躍を支援することで、安心して楽しみながら子育てできるまち、子どもがのびのびと育つまちを目指します。

(7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

今後、大きな社会変化が起こった場合も、新たな価値や将来を創り出すために、市民が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに想い描く幸せや活躍を実現できるまちを目指すとともに、学校教育・社会生活の中でおかざき愛が育まれていくまちを目指します。

(8) 商業と観光が成長産業となる地域経済づくり

新技術の普及により生活利便性が著しく向上した社会にあっても、まちを楽しむ人が集う将来を見据え、観光と商業機能が連動した観光産業都市にふさわしい誘客資源が充実したまちを目指します。

(9) ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

産業の変革期や、労働力の不足が見込まれる社会にあっても、国内屈指の製造業拠点の一角を担うものづくり産業が科学や新技術と連携して地域経済の柱であり続けるまち、企業立地を促進するまちを目指します。

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

全国的に先進性を有する公民連携、都市経営のスマート化、広域防災など共通課題の解決に向けた取組をきっかけとして、周辺都市との連携体制構築を図り、中枢中核都市として周辺都市を含めた地域全体の支えとなるまちを目指します。

未来投資計画

まち・環境

ひと・社会

しごと・経済

行政・パートナーシップ

都市
インフラ

防災・
強靱化

環境・
農山村

地域社会

保健・
医療・
福祉

子育て・
男女共同
参画

教育・
文化

商業・観光

工業

行政・パートナーシップ

持続可能な集約連携型都市

誰もが役割を持てる地域共生社会

付加価値創出型の「稼ぐ」地域経済

都市経営のスマート化

参考指標

指標	現況値	目標値
市内着工建築物 工事費	2024年度 927億円	2021年～2030年 平均850億円
交通利便性の 高いまち	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.1	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.0
市内主要駅の 乗客数	2023年 1,404万人	2030年 1,404万人
防災関連の 取組満足度	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.5	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.0

参考指標

指標	現況値	目標値
社会増減	2024年 138人転出超過	2021年～2030年平均 250人転入超過
住みやすい まち	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.7	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.5
合計特殊出 生率	2023年 1.33	2021年～2030年平均 1.70
子育てしや すいまち	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.2	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.5
待機児童数	2025年 16人	2030年 0人

参考指標

指標	現況値	目標値
製造品出荷額等	2020年 1兆8,297億円	2030年までに 3.5兆円水準
小売業商品販売額	2021年 3,882億円	2030年までに 4,500億円水準
商工業が盛んな まち	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.3	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.5
観光施設入込客数	2024年 345万人	2030年 425万人

参考指標

指標	現況値	目標値
プラットフォーム 活用の課題 解決件数	2023年度 1件	年平均3件
市政総合満足度	2024年ⅡⅦ 11段階平均5.2	2030年到達ⅡⅦ 11段階平均6.5

未来投資パッケージの概要

未来のまちパッケージ

パッケージの方向性

社会や時代の変化に適応しながら、暮らしに新しい変化と魅力をもたらし続けるまちづくりを進めます。同時に、交通課題や災害リスクなどの社会課題に対応し、持続可能な都市として発展し続ける力強い基盤を作ります。

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
暮らしに変化と魅力をもたらすまち	・東岡崎駅周辺地区整備 ・岡崎駅周辺地区整備 ・本宿駅周辺地区整備 ・QURUWA戦略推進 （中心市街地活性化）
暮らしと経済活動を支える交通環境	・共助交通の推進 ・バス路線の維持向上 ・鉄道バリアフリー化推進 ・道路ネットワーク整備
災害リスクが低減された強靱なまち	・総合雨水対策推進 ・多様な主体と連携した防災対策

未来のひとパッケージ

パッケージの方向性

あらゆる世代・多様な市民の一人ひとりが、希望するライフスタイルを選択でき、豊かなつながりの中で自分らしく活躍できる市民生活の実現を目指します。また、これまでの歴史の中で受け継いだ様々な価値と、新たに生み出す価値を、未来に継承する取組を行います。

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
多様な活躍を支える基盤づくり	・地域社会DX ・岩津地域活動拠点整備 ・スマートウェルネスシティ推進 ・働きたい・働き続けたい女性の活躍推進 ・外国人材活躍推進
未来を創るこどもを育むまち	・南公園整備 ・新しい時代の学びの推進 ・こども・子育て世代の支援
まちの魅力やブランド力の向上と継承	・歴史まちづくり ・さくらの名所づくり推進 ・岡崎城の復興継承

未来のしごとパッケージ

パッケージの方向性

人や企業が集まり、つながり、新しい価値やイノベーションを生み出すまちを目指します。同時に社会課題解決や市内の産業発展を強力に後押しします。

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
社会課題解決と連携した経済成長	・ゼロカーボンシティ推進 ・中山間地域活性化 ・食と農の生産・交流・PR拠点エリア推進
観光とビジネスの融和	・QURUWA地区ホテル誘致 ・観光おもてなし推進 ・スポーツツーリズム推進
イノベーションを創発する産業・人材の集積	・阿知和地区工業団地関連整備 ・産業立地誘導地区開発推進 ・イノベーション創出支援

未来のパートナーシップパッケージ

パッケージの方向性

複雑化・多様化する社会課題に限られた行政資源で対応するために、効率的かつ効果的な行財政運営を行います。また、社会課題に対応しながら魅力ある地域づくりをすすめるため、あらゆる行政分野で民間の持てるアイデアと力を発揮し、質の高い行政サービスの提供や地域活性化を推進します。

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
民間事業者連携推進	・公民連携した社会課題解決の推進 ・シティプロモーションの推進